

各位

「日本の教育DXとICT教育の国際動向を深める勉強会」のお知らせ

批判的に

「勉強会」世話人一同(世話人下記に一覧)

スマホ、SNS、ICT教育とGIGAスクール構想・教育DXは、様々な問題を抱えながらも、子ども達と学校現場に浸透しています。一方スクリーンの長時間使用と不適切な使い方による深刻な健康被害やネット被害、個人情報の商品化やプライバシーの侵害等も引き起こしています。

これは、世界共通の現象であり、教育DXを早期に取り込んだヨーロッパ諸国では、深刻な学力低下、言語能力の低下の現実に直面しています。しかし、事実を直視し軌道修正を開始した国々も生まれてきました。

それらの現状について、警鐘を鳴らしたユネスコの「2023年グローバル教育モニタリングレポート・教育におけるテクノロジー」報告書は、日本で一部の研究者による二つの訳があります。しかし、マスコミを含め教育研究者さえ知らされていないという状況です。

我々世話人は、この「報告書」を早期に普及させ、行動に移すことが必要と考え、オンラインでの「勉強会」を企画しました。呼びかけ人の一人、伊藤賢一は群馬大学情報学部教授で、現在科学研究費を獲得し、デジタルヘルスやネット依存について調査、啓発カリキュラムを開発しています。

本勉強会は、その科学研究費事業の一環として取り組みますので、参加費は無料です。

■勉強の内容

- ①日本の教育DXとICT教育の国際動向について
- ②不適切なICT教育による、脳の発達阻害とデジタルヘルス問題
- ③個人情報の商品化と子どものプライバシーの侵害：政府・財界のデータ戦略

■企画

第1弾全米の各州政府と議会で広がる「SNSのタバコ並み規制」

—その運動の背景と実態、科学的裏付け— 9月28日(土)14時—16時

第2弾 全国的にデジタル化を推進し、深刻な学力低下を直視したスウェーデンの再建

11月下旬予定

第3弾 国連「ユネスコ」：2023年・世界報告書

「2023年グローバル教育モニタリングレポート：教育におけるテクノロジー」の概要

2025年1月下旬予定

第4弾 学力世界一のフィンランドの学力凋落と再建

2025年3月下旬予定

第5弾 諸外国編は、その後順次

第6弾 不適切なICT教育による、脳の発達阻害とデジタルヘルス問題 別途企画

第7弾 個人情報の商品化と子どものプライバシーの侵害：政府・財界のデータ戦略 その後企画

- 世話人 伊藤賢一 (群馬大学情報学部教授、科研代表)
 大谷良光 (子どものネットリスク教育研究会代表、元弘前大学教授)
 吉田雅人 (さいたま市の学校と教育を考える市民の会)
 田中康寛 (大阪教育文化センター事務局次長、教育問題研究者)

■受講の方法は2つ

①開催日にオンラインで参加する⇒事前にURLかQRコードからGoogleフォームで申込み

1回申し込みば、以後、オンライン「勉強会」の案内を順次送付

②勉強会開催日に参加できない場合⇒事前に申し込みば、勉強会録画と資料データを送付

*①と②のGoogleフォームのURL、QRコードは別です(裏の第1弾勉強会の案内に記載)

毎回、URL、QRコードは変わりますので、①か②で申込みが必要です。

■講演の内容は、その後論文として『子どものネットリスク教育研究会研究誌』に掲載

■この「お知らせ」を、問題意識をお持ちの友人にお伝え下さい。

■問い合わせ <https://hiro-univ-netpat-otani.skr.jp>

批判的に

「日本の教育DXとICT教育の国際動向を深める勉強会」 第1弾

全米の各州政府と議会で広がる「SNSのタバコ並み規制」 - その運動の背景と実態、科学的裏付け -

本年1月末、アメリカ連邦議会上院がSNSの有害性を巡って、SNS大手5社の最高経営者を招いて公聴会を開催し、「SNSは危険な製品だ」と経営責任を問いました。

また、昨年は全米41州の議会で「公衆衛生上の危険をもたらすもの」とした勧告やSNS大手社を提訴する行動等が開始されています。

このようにアメリカ全土でSNSの有害性の批判が高まり、連邦議会や少なくない州での取り組みが、日本のマスコミでも報道されはじめました。

さらに、富裕層と貧困層の教育格差が広がる中、チャータースクール等では、オンライン学習が普及し、教員に変わりインストラクターが教師の代わりプログラム化された個別学習の授業を行っています。このシステムが進む中で、子どもの健康被害が顕在化し、「ICTを使わない権利」運動が起きています。ICT教育の先進国—アメリカの動向を批判的に学ぶ必要があります。

■日時：9月28日(土) 14時—16時

■オンラインのみ 入場：13時40分から

■参加費：無料

■申込み締切 9月26日(木)

■時程

(1)世話人あいさつ 伊藤賢一氏(群馬大学情報学部教授)

(2)講演 田中康寛氏 (80分)(大阪教育文化センター事務局次長、教育問題研究者)

(3)質疑・意見交換 (40分)

*司会進行：大谷良光(子どものネットリスク教育研究会代表、元弘前大学教授)



講師 田中康寛氏

1957年生まれ、大阪府高槻市立中学校教諭(理科)

退職後—漁師、大阪教育文化センター勤務、子どものネットリスク教育研究会専門委員会スーパーアドバイザー

著書：『教育の未来を拓く、学校でのICT「活用術」』（2023、大阪教育文化センター編）他
一部翻訳：「ユネスコ2023年グローバル教育モニタリングレポート：教育におけるテクノロジー」

■2つの受講方法と申込み

①開催日にオンラインで参加する

①のQRコード

⇒事前にURLかQRコードからGoogleフォームで申込み

●GoogleフォームのURL、

<https://forms.gle/MY5DNQsPX85F5WcD9>

②のQRコード

②「勉強会」開催日に参加できない場合

⇒事前に申し込めば、勉強会終了後「講演録画(YouTube)」のURLと資料データ(PDF)を送付

●GoogleフォームのURL、

<https://forms.gle/JxAxBowQJbWuqUu5>



■この「お知らせ」を、問題意識をお持ちの友人、お知り合いにお伝え下さい。

■問い合わせ

<https://hiro-univ-netpat-otani.skr.jp>